

Ⅶ. 評価業務

1. 評価委員会

外部及び内部委員による研究及び機関の評価制度（研究事業評価委員会、工業分野研究評価分科会、内部評価検討会）により評価を受けた。

1-1 研究事業評価委員会

目的・役割	連携プロジェクト研究の事前・途中・事後評価と、各分野研究評価分科会の評価結果の確認及び経常研究に対する助言を行う。
委員	一ノ瀬利光 三菱重工業技術統括本部長崎研究所 所長 吉村 進 科学技術振興機構 プログラムオフィサー 奥 真美 首都大学東京都市教養学部 教授 宇都 浩三 産業技術総合研究所九州センター 所長 西園 祥子 宮崎大学産学・地域連携センター 准教授 鈴木 敦 鈴木敦特許事務所 弁理士 松岡 數充 長崎大学環東シナ海環境資源研究センター 教授
期日・場所	○第1回研究事業評価委員会 日時：平成23年7月27日 場所：出島交流会館 ○第2回研究事業評価委員会 日時：平成23年8月10日 場所：農協会館 ○第3回研究事業評価委員会 日時：平成23年10月18日 場所：タクシー会館
内容 (黨業技術センター分を記載)	工業分野研究評価分科会の調査・審議に関する結果報告を踏まえ評価・助言を行う。
出席者	振角 俊一、武内 浩一、阿部 久雄、永石 雅基、秋月 俊彦、高松 宏行

1-2 工業分野研究評価分科会

目的・役割	内部評価検討会後の経常研究について、外部委員による事前・途中評価を行い、課題選定のための評価と内容の磨き上げ、進捗に関する助言を行う。
委員	石松 隆和 長崎大学工学部 教授 池末 純一 長崎総合科学大学情報学部 教授 久留須 誠 佐世保工業高等専門学校 教授 松尾 慶一 白山陶器(株) 代表取締役社長 林田眞二郎 長工醤油味噌協同組合 顧問 宮本 憲 宮本電機(株) 代表取締役社長

期日・場所	<p>○第1回工業分野研究評価分科会 日時：平成23年8月9日 場所：出島交流会館</p> <p>○第2回工業分野研究評価分科会 日時：平成23年8月18日 場所：工業技術センター</p>
内 容 (窯業技術センター 分を記載)	<p>○第1回工業分野研究評価分科会 平成22年度新規研究課題の評価 ①低炭素社会対応型陶磁器素材の開発 ②中国・アジア市場に向けた新世代家庭用食器の開発</p> <p>○第2回工業分野研究評価分科会 事後研究課題及び平成22年度新規研究課題の評価 ①高耐候性・高輝度蓄光製品の製造技術に関する研究 ②新規な耐熱素材の開発 ③低温反応プロセスを用いた無機系廃棄物からの機能性材料の開発</p>
出席者	振角 俊一、武内 浩一、阿部 久雄、久田松 学、永石 雅基、秋月 俊彦、 吉田 英樹、依田 慎二、河野 将明、山口 典男

1-3 研究事業評価内部検討会（工業分野）

目的・役割	<p>全研究課題について、下記県内部委員による事前・事後評価を行い^(※)、その評価、助言等をもとに研究機関長が自己評価を行う。</p> <p>(※)平成21年度における評価の対象課題で、平成20年度の評価制度において、すでに外部評価を受けている事後評価については除外する。</p>
委 員	<p>吉川 三夫 産業政策課 主任主事 福田三千年 産業振興課 課長補佐 上原 哲之 産業技術課 課長 振角 俊一 窯業技術センター 所長</p>
期日・場所	<p>日時：平成23年6月23日 場所：県庁</p>
内 容 (窯業技術センター 分を記載)	<p>①高耐候性・高輝度蓄光製品の製造技術に関する研究 ②低炭素社会対応型陶磁器素材の開発 ③中国・アジア市場に向けた新世代家庭用食器の開発</p>
出席者	振角 俊一、武内 浩一、阿部 久雄、梶原 秀志、久田松 学、秋月 俊彦、 吉田 英樹、河野 将明

1-4 科学技術振興会議

目的・役割	次の事項について審議を行い、必要に応じて知事に提言を行う。 1. 「長崎県科学技術振興ビジョン」に示した具体的施策の進行管理に関すること 2. 科学技術の振興に資する新たな施策の提案に関すること 3. 戦略的振興分野の提案と振興施策に関すること 4. その他、科学技術の振興に必要な重要事項に関すること
委員	片峰 茂 (会長) 長崎大学 学長 光田 好孝 東京大学生産技術研究所 副所長 松岡 数充 長崎大学極東シナ海環境資源研究センター 教授 奥 真美 首都大学東京都市教養学部 教授 山口夕妃子 長崎県立大学経済学部 准教授 西 亮 (副会長) 滲透工業株式会社 代表取締役社長 一ノ瀬利光 三菱重工業技術統括本部長崎研究所 所長 宮原 諄二 イノベーションファクター研究センター 代表 山川 理 株式会社VEGETA 顧問 清水 周英 (副会長) 株式会社たらみ 代表取締役社長 松永 和紀 科学ライター 太田 幸子 重山陶器株式会社 専務取締役 藤澤 千絵 株式会社にんじんネット 代表取締役社長 石塚 孝 長崎県副知事
期日・場所	○第 29 回 日時：平成 24 年 2 月 10 日 場所：ホテルセントヒル長崎 2F
内 容	①長崎県科学技術振興ビジョン【2011】の概要について ②H23 年度の取組み状況について ③産学官金連携の取組みについて ④研究機関の横断的研究の取組みについて
出席者	振角 俊一、武内 浩一、秋月 俊彦

2. 県有特許権等取得活用審査会

目的・役割	県研究機関職員の職務発明のうち、産業技術課の所管に係る特許権、実用新案等の審査請求、更新または処分について審査を行う。
委員	上原 哲之、加藤 敏、森崎 克朗、植田 勝征
期日・場所	○第 1 回 日時：平成 23 年 12 月 1 日 場所：県庁日生ビル 1F 会議室
内 容 (産業技術センター 分を記載)	○第 1 回 ①特願 2008-320278「下水汚泥溶融スラグを活性フィラーとするジオポリマー固化体」 審査結果：審査請求する ②特許第 4107636「断熱性軽量強化磁器」 審査結果：実施許諾の申請があれば更新可とする
出席者	秋月 俊彦、山口 典男、高松 宏行

3. 所内課題検討会

3-1 研究事業評価委員会発表検討会

目 的	研究事業評価委員会で発表する「事前・事後」の各研究課題に関して、所内で発表内容の検討（ブラッシュアップ）を行う。
委 員 員	振角 俊一、武内 浩一、阿部 久雄、梶原 秀志、久田松 学、秋月 俊彦
期 日	(新規課題) 平成 23 年 5 月 30 日、平成 23 年 6 月 1 日、平成 23 年 6 月 10 日 平成 23 年 6 月 14 日、平成 23 年 6 月 16 日 (事後課題) 平成 23 年 7 月 12 日、平成 23 年 7 月 13 日、平成 23 年 8 月 17 日
内 容	新規課題 3 件（事前評価）、終了課題 3 課題（事後評価）に対してヒアリングを実施した。

3-2 新規研究課題検討会

目 的	平成 24 年度からの新規研究課題として平成 23 年度の研究事業評価委員会へ提案する課題を所内で検討する。
関 係 者	振角 俊一、武内 浩一、阿部 久雄、梶原 秀志、久田松 学、関係職員
期 日	(平成 24 年度新規課題) 平成 23 年 4 月 12 日、平成 23 年 4 月 14 日、平成 23 年 5 月 2 日 平成 23 年 5 月 16 日、平成 23 年 5 月 19 日、平成 23 年 5 月 26 日
内 容	研究員から提案された 3 件の課題に対してヒアリングを実施した。

3-3 業務進捗状況報告会

目 的	研究業務・技術支援業務の進捗状況等について所内で報告し、円滑で効果的な業務の遂行を図る。
委 員 員	振角 俊一、武内 浩一、阿部 久雄、梶原 秀志、久田松 学
期 日	第 1 回 平成 23 年 7 月 12 日～7 月 13 日 第 2 回 平成 23 年 12 月 20 日～12 月 22 日